

**特徴:** さまざまな細菌やウイルスが原因となっている胃腸炎を、感染性胃腸炎と呼びます。ほぼ1年を通してみられる病気ですが、特に冬場に流行する原因の大半はノロウイルスやロタウイルスです。子どもや高齢者、持病のある人がかかりやすく、重症になることもあります。

**感染経路:** ①汚染された食べ物を介した経口感染

②感染者の吐物処理時の飛沫感染

③感染者との直接的接触感染

④感染者の吐物や便に汚染された環境面などとの間接的接触感染

⑤ウイルスに汚染された吐物や便が放置せられ、乾燥し空気中に浮遊したものを吸い込んで感染するとも言われています。

次号では、豊齢ホームでのノロウイルスへの取組みをご紹介します予定です。



**予防対策:** 症状があるのに学校・施設など多くの人と接する場に行くと、そこで広がり、次に別の家庭に広がってしまいますので、症状が治まるまでは集団生活を避けるようにしましょう。自分が感染するのを予防するためにも、**お手洗いや食事の前に「流水と石鹼による手洗い」を徹底**しましょう。乳幼児や高齢者がかかった場合や、症状がひどいときは、早めにかかりつけの医師を受診しましょう。



\* 糞便や吐物が感染源になるという意識を持ち、糞便や吐物は速やかに処理できる準備をしておきましょう。

\* 発生した場合(次亜)塩素酸ナトリウム(ハイターなど)による環境の消毒が必要になります。

(アルコールなどの消毒薬が効きにくいともいわれているため)

**注意点**

主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、発熱です。症状は数日で治まりますが、ごくまれに吐いたものが喉に詰まる事があるので注意しましょう。

特効薬はまだみつかりません。嘔吐や下痢が続く時は脱水にならないように水分補給をすることが一番大切です。嘔吐や下痢によって体がウイルスを出そうとしているので、下痢止めの薬を安易に用いてはいけません。

**ペットボトル(500cc)を使った塩素系消毒液の作り方**

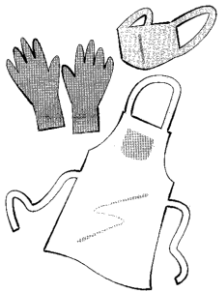
市販の塩素系漂白剤をそのまま使用してはいけません。原液濃度によって薄める比率が違います。製品ごとに確認しましょう。

**作り方** ①原液をペットボトルに入れ、②水で満たし、キャップをしっかりと締めてよく振る。

原液濃度5%の場合 キャップ 2杯(10cc)	①	原液濃度5%の場合 キャップ 半分程度(2cc)
原液濃度1%の場合 キャップ10杯(50cc)	② 水で満たす (500cc)	原液濃度1%の場合 キャップ2杯(10cc)
※1 0.1%の消毒液		※2 0.02%の消毒液

**嘔吐物・下痢の処理**

●処理する人自身が感染しないように、手袋とマスク、エプロンを着用する



●汚物は布やペーパータオル等で外側から内側に向けてぬぐい取る

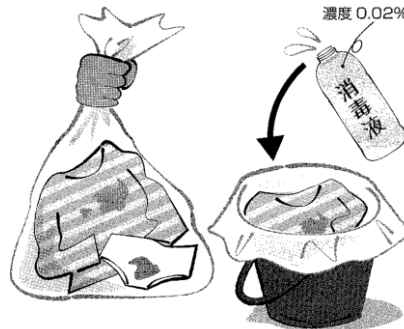


●汚物が付着していた床とその周囲を、※10.1%の消毒液を染み込ませたペーパータオル等で覆うか、浸すように拭く

\* 布団やカーペットなど浸すのが難しい物はアイロンのスチームでも可能といわれています

**汚れた衣類の扱い**

●衣類をビニール袋等に入れる



●※20.02%の消毒液に10分間浸して消毒す

●消毒後、他のものと分けて最後に洗濯する

\* 塩素系消毒液は、手荒れや衣類の色落ちの恐れがあるので注意しましょう